



さあ、答え合わせをしよう！

第15週目 10/26 ⑮行ってみよう～広島県(ひろしまけん)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～広島県(ひろしまけん)

1. 広島県(ひろしまけん)の古墳(こふん)の約1/3が、とある地域に集中しています。それは、次のうち、どこ？

正解:②三次(みよし)

広島県(ひろしまけん)は、山陰(さんいん)地方や四国地方ともつながる地域(ちいき)で、瀬戸内海(せとないかい)の大小138の島々を有しています。こうした地形(ちけい)から、いろいろな地域(ちいき)との交流(こうりゅう)が活発(かっぱつ)に行われていました。正解は、②三次(みよし)地区で、このあたりから約4,000の遺跡(いせき)が見つかっています。

2. 木の宗山古墳(きのむねやまこふん)から見つかった銅鐸(どうたく)には、何と呼ばれるも文様(もんよう)がほどこされている？

正解:③邪視文(じゃしもん)

木の宗山古墳(きのむねやまこふん)から出土(しゅつど)した銅鐸(どうたく)は、小型で、2つの目のようなあやしい文様(もんよう)が描(えが)かれています。正解は、③邪視文(じゃしもん)。ちなみに、流水文(りゅうすいもん)とは、流水(りゅうすい)をかたどった文様(もんよう)で、いくつかの平行線(へいこうせん)をS字状に連(つら)ねた幾何学的(きかがくてき)なもの、絵画的(かいがてき)に水の流れを表したものとがあります。また、渦巻(うずま)き文とは、幾重(いくえ)にも巻(ま)いた曲線模様(きょくせんもよう)です。これらの模様(もよう)は、現代では着物(きもの)や器(うつわ)にもよくみられます。

3. 山陰(さいいん)地方や北陸(ほくりく)地方に多く見られ、広島県にもある特徴的(とくちょうてき)な墳丘墓(ふんきゅうぼ)の名前は？

正解:①四隅突出型墳丘墓(よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ)

弥生時代中期(やよいじだいちゅうき)から、吉備(きび)・山陰(さんいん)・北陸(ほくりく)の各地方で、方形墳丘墓(ほうけいふんきゅうぼ)の四隅(よすみ)がヒトデのように突(つ)き出し、その突(つ)き出た部分に葺石(ふきいし)や小石が並べられた、ユニークなデザインの墓(はか)が登場(とうじょう)します。この墓(はか)の名前は、四隅突出型墳丘墓(よすみとっしゅつがたふんきゅうぼ)、正解は①です。さて、三角フレスコ型墳丘墓(ふんきゅうぼ)と五角形墳丘墓(ごかけいふんきゅうぼ)とは、……残念ながら、聞いたことがありませんね。

4. 矢谷墳丘墓(やだにふんきゅうぼ)から出土した特殊器台(とくしゅきだい)と壺のセットは、何に使われた？

正解:③祭りの道具

「祭り」とは、神様(かみさま)に祈(いの)ったり、感謝(かんしゃ)を伝えたりするための儀式(ぎしき)です。だから、銅鐸(どうたく)や特殊器台(とくしゅきだい)等の特別な道具(たぐい)を飾(かざ)り、食べ物を供(そな)えて、精一杯(せいいつぱい)のおもてなしをしました。これは、今も昔も同じですね。正解は、③祭りの道具です。矢谷墳丘墓(やだにふんきゅうぼ)から出土(しゅつど)した特殊器台(とくしゅきだい)と壺(つぼ)のセットは、表面が赤く塗(ぬ)られ、渦巻(うずま)きや三角形の透(す)かしなど、たくさんの模様(もよう)で飾(かざ)られます。

5. 双龍環頭柄頭(そうりゅうかんとうつかがしら)は珍(めずら)しいものですが、どこから贈(おく)られた？

正解:③ヤマト政権

二子塚古墳(ふたごづかこふん)で見つかった柄頭(つかがしら)は、2頭(とう)の龍(りゅう)がそれぞれ玉(たま)をくわえている、めずらしいものです。日本列島(れっとう)で作られたと考えられていることから、正解は、③ヤマト政権(せいけん)です。刀の本体部分はまだみつからないようなので、もしかすると、これからキミが発見するかもしれませんね。